

ITU-R SG3及びSG3関連会合（令和2年8月） の議論の報告（案）

ITU-R SG3会合及びSG3関連会合 開催概要	
開催期間	2020年8月10日（月）～8月21日（金）
開催場所	e-Meeting
概要	26か国、22機関から177名（うち、我が国からは19名）が出席し、4つのWP会合宛に合計158件の寄与文書、SG宛に10件の寄与文書が入力された。

我が国から入力した寄書について

入力先 WG	題目	議題	提供元
3J/3K/ 3M	ITU-R勧告P.1409-1の改定に対するサポート文書	-	ソフトバンク(株)
	WP5Dへのリエゾン回答（案）	1.4	ソフトバンク(株)

① ITU-R勧告P.1409(HAPS等のデータ伝搬と予測方法)の改訂に向けた検討【WP3J/3K/3M】

伝搬特性に係る測定結果を盛り込んだ我が国の作業文書案と、HAPS検討用と干渉検討用に章構成を分けるべきであるとするロシアの作業文書案に関して議論が行われた。両文書には重複する箇所があるためオフラインでの調整が図られたが、現段階では両論併記されることとなった。

また、HAPS伝搬モデルについて、予測される全てのモデルを本文に記載すべきか他の勧告と重複するモデルは参照すべきか、共用検討とシステムデザインのモデルを分けるべきか両方に対応する統一モデルとすべきか、について今後のCG 3J-3K-3M-14における検討が継続して行われることとなった。併せて、WP5Dからのリエゾンへの回答が我が国の提案を基に作成されるとともに、CG 3J-3K-3M-14のToRについては、WRC-23議題1.4に関するHAPS伝搬モデルの適用周波数範囲を拡張する旨を示した項目が追加され、出力された。

② ITU-R勧告P.2108（クラッタ損失の予測）の改訂に向けた検討【JSWG Building Entry Loss and Clutter】

Ericsson、英国、中国及び韓国から測定結果が入力され、これらはデータバンクに供されるとともにCG-3K-3M-12において議論が継続されることとなった。また、ITU-R勧告P.1409の改訂を提案する我が国の寄与文書が、10GHz以下のクラッタ損失に関する有益な測定結果として、ITU-R勧告P.2108の改訂においても参考にされることとなった。また、CG-3K-3M-12においては、中国及び韓国の測定/シミュレーション結果を踏まえ、新ITU-R報告P.[CLUTTER]の草案作成も進められることとなった。

③ ITU-R勧告P.1238（屋内無線通信システム等のための伝搬データと推定モデル）の改訂に向けた検討【WP3K】

前会期において、対象周波数の上限を100GHzから450GHzに拡張した本勧告について、屋内環境における新規データ（米国、英国等からはこれまでの上限周波数までのデータ。勧告からは100GHzを超える周波数でのデータ。）や、これらのデータに基づく損失係数等が入力された。議論の結果、我が国から過去に入力した300GHz帯のデータと及び勧告からのデータのマージ方法や勧告内の表のシンプル化に係る議論について引き続き検討が必要である旨のコメントが付された本勧告の改訂に向けた作業文書が作成された。

④ ITU-R勧告P.372（電波雑音）に関する検討【WP3L】

CG 3L-7の検討結果として、ITU-R勧告P.372の暫定改定案が示された。現時点では人工雑音に関する項目が含まれていないが、従前の勧告での記述をさらに拡張させて今後追記されることが伝えられ、引き続き検討が進められることとなった。

EBUから、屋内電波雑音データをITU-R勧告P.372に盛り込むための検討をWP3Lで行うべき提案がされた。これに対しては、我が国やドイツによる、勧告SM.2093（屋内電波雑音の測定手法）を参照するべき旨等の意見が出され、これらの意見を踏まえて検討が継続されることとなった。

SG3では79件の勧告を所掌しており、今会合ではWP3J及びWP3Kより上程された5件の勧告改訂が採択された。報告については、WP3Kより上程された1件の改訂が提案・承認された。所掌する研究課題は24件であるが、今会合では審議されなかった。

SG3会合での採択又は承認の結果

グループ	担務内容	勧告 (採択)	報告 (承認)	研究課題 (採択)
WP3J	基本伝搬	4件（改訂） P.676 大気ガスによる減衰及び関連する影響 P.833 植生による減衰 P.834 対流圏屈折が電波伝搬に与える影響 P.835 参照標準大気	0件	0件
WP3K	ポイント・エリア伝搬	1件（改訂） P.528 VHF/UHF/SHF帯を用いた航空移動 及び無線航行業務のための伝搬曲線	1件（改訂） P.2345 IF77のための伝搬モデル	0件
WP3L	電離圏伝搬及び電波雑音	0件	0件	0件
WP3M	ポイント・ポイント伝搬・地球衛星間伝搬	0件	0件	0件
合計		5件	1件	0件

【参考】WRC-23議題一覧

4

		Responsible Group (責任グループ)	Contributing Group (SG3関係)
議題1.1	4800-4990 MHzにおける国際空域及び公海における航空、海上業務無線局の保護の検討と脚注5.441Bのpfd要件の見直し	WP 5B・WP 5D	WP3K/3M
議題1.2	3300-3400 MHz、3600-3800 MHz、6425-7025 MHz、7025-7125 MHz及び10.0-10.5 GHz帯における移動業務への一次分配を含むIMT特定の検討	WP 5D	WP3K/3M
議題1.3	第一地域における3600-3800 MHzの移動業務への一次分配の検討	WP 5A	WP3K/3M
議題1.4	2.7GHz以下のIMT特定された周波数帯におけるIMT基地局としての高高度プラットフォームステーション(HIBS)利用の検討	WP 5D	WP3K/3M
議題1.5	第一地域における470-960 MHz帯の既存業務の周波数利用と周波数需要の見直しとこれに基づく規則条項の検討	TG 6/1 (SG 6)	WP3K/3M
議題1.6	準軌道飛行体の無線通信のための規制条項の検討	WP 5B	WP3M
議題1.7	117.975-137 MHzにおける地球から宇宙及び宇宙から地球の双方向への航空移動衛星業務(AMS(R)S)への新規分配の検討	WP 5B	WP3M
議題1.8	無人航空システムの制御及び非ペイロード通信による固定衛星業務の利用のための決議155 (WRC-15改) 及びRR 5.484Bの見直しと適切な規則条項の検討	WP 5B	-
議題1.9	航空移動業務に割り当てられたHF帯における民間航空の人命保護のためのデジタル技術の導入とアナログシステムとの共用のためのRR付録27の見直しと規制条項の検討	WP 5B	WP3L/3M
議題1.10	非人命保護用途の航空移動アプリケーションのための航空移動業務への新規分配のための研究の実施	WP 5B	WP3K/3M
議題1.11	海上における遭難及び安全に関する世界的な制度(GMDSS)近代化及びe-navigation実施のための規則条項の検討	WP 5B	-
議題1.12	45 MHz帯衛星搭載レーダーサウンダーのための地球探査衛星業務(能動)への新規二次分配のための検討の実施	WP 7C	WP3K/3L/3M
議題1.13	14.8-15.35 GHz帯に二次分配されている宇宙探査業務の一次分配への格上げの検討	WP 7B	WP3M
議題1.14	現代のリモートセンシング観測の要求に則った231.5-252 GHz帯における地球探査衛星業務(受動)に係る既存分配の見直しと新規分配の検討	WP 7C	WP3J/3M
議題1.15	固定衛星業務の静止軌道衛星局と通信する航空機及び船舶上の地球局による12.75-13.25 GHz帯(地球から宇宙)の利用の調和	WP 4A	WP3M
議題1.16	非静止軌道における固定衛星業務の移動する地球局による17.7-18.6GHz、18.8-19.3 GHz及び19.7-20.2 GHz (↓)並びに27.5-29.1 GHz及び29.5-30 GHz (↑)の使用のための研究及び技術・運用・規則面の手段の検討	WP 4A	WP3M
議題1.17	特定帯域における衛星間リンクの規則に対する衛星間業務への分配追加による適切な規則条項の決定と実施	WP 4A	WP3M
議題1.18	狭帯域移動衛星システムの発展のための移動衛星業務の周波数需要及び新規分配の検討	WP 4C	WP3M
議題1.19	第二地域における17.3-17.7 GHz帯の宇宙から地球方向の固定衛星業務への新規一次分配の検討	WP 4A	WP3M
議題9.1	a) RRにおける適切な認知と保護という観点での宇宙天気センサに関する技術、運用面の特徴、周波数要求、適切な無線業務の研究の見直し	WP 7C	WP3J/3K/3L/3M
	b) 同一の周波数で運用されている無線航行衛星業務(宇宙から地球)の保護を確実にするための追加的手段の必要性の決定のための1240-1300 MHz帯のアマチュア業務及びアマチュア衛星業務の見直し	WP 5A	WP3M
	c) 固定業務に一次分配された周波数帯での固定ワイヤレスブロードバンドのためのIMTシステムの利用の研究	WP 5A・WP 5C	-
	d) 36-37 GHzにおけるNGSO宇宙局からのEESS保護	WP 7C	-